

提出順	9	発言順	12	令和 6 年 8 月 28 日
				午前・午後 1 時 01 分受領

(3 枚中No. 1)

令和 6 年 8 月 2 8 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安曇野の水は、次世代からの預かりもの		
市歌にあるように、安曇野は水と緑と光の郷である。中でも水は安曇野の象徴とも言え、水資源の保全・強化・活用について書いた安曇野市水環境基本計画において、「水は、次世代からの預かりもの」という理念を掲げている。今、この安曇野の水はどうなっているのか。次世代からの預かりものである安曇野の水を次世代につなぎ通していただけるのか。 1、安曇野の水は今どうなっているか？ ・安曇野の地下水量は減っているのか ・水収支 閾値の考え方と水収支は 監視値はどうなっているか 広域での水収支に関するデータはあるのか 2、それぞれの立場からの取り組み ・市の取り組み 2026年度の年間300万立方メートルの涵養量と涵養施策（田んぼの面積） 資金調達について ・広域での取り組み アクションプランにある一斉測水（水質、水量）はできているのか 指針はあるが計画はない 広域での啓発講演会			

提出順	9	発言順	12	令和 6 年 8 月 28 日
				午前・午後 1 時 01 分受領

(3 枚中 No. 2)

令和 6 年 8 月 28 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	安曇野の水は、次世代からの預かりもの		
・事業者の取り組み 取水量の制限は必要ないのか 「地下から取った水は、取った分だけ地下に還す」理念と事業者の水収支公表の仕組み ・市民の取り組み 3、市長の考え			

提出順	9	発言順	12	令和 6 年 8 月 28 日
				午前・午後 1 時 01 分受領

(3 枚中 No. 3)

令和 6 年 8 月 28 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	自然と人間の調和したまち ～安曇野がこれからも安曇野であり続けていくために、 世界農業遺産の登録を～		
安曇野市が位置する安曇平は、元々地下水位の低い渇水地域と地下水位の高い湧水地域という、極端な自然環境下にあったため、人々が定住するには苦勞する土地柄であった。先人は、今から約 900 年前の平安時代より堰の開削を進め、集落を形成していった。安曇野市は松本市街地のような城下町とは異なり、堰開削による農業の発展に伴い形成された町であり、農業の歴史が町形成の歴史といえる。拾ヶ堰に代表されるように、無数に引かれた堰により田園は広がっていき、江戸時代末期に築かれたこの田園風景は、現在かなり市街化されたものの、今でも北アルプスとともに安曇野市の代名詞ともいえる郷愁を誘う景観を成している。 我われはこの景観をいつまで維持することができるのだろうか。また少子高齢化や気候変動にともない、この先、先人より培ってきたこの安曇平での生活様式を維持していけるのだろうか。 自然と人間とが調和した我らの安曇野がこれからも安曇野であり続けていくために、世界農業遺産の登録を提案する。 1, 世界農業遺産とは 2, 世界灌漑施設遺産との違い 3, どのようなメリット、デメリットがあるか。また登録に向けてのハードルはあるか。 4, 安曇野をこれからもどんなまちにしていけるのか			